

令和 5 年度 横川中学校 学校評価書

※ 網掛けのない部分が評価計画，網掛けの部分が評価結果を受けて記入する。

1 教育目標（目指す生徒像含む）

- (1) 基本目標
『豊かな心をもち 未来を切り拓く力を身に付けた生徒の育成』
～社会で「自立と貢献」ができる人づくりを目指して～
- (2) 具体目標
豊かな心をもち 思いやりのある生徒（徳） 主体的に考え 粘り強く学ぶ生徒（知）
気力にあふれ たくましい生徒（体） 精神的に自立し 他と協働できる生徒（社会性）
- (3) 生徒指標
「強く 聡く 美しく」

2 学校経営の理念（目指す学校像含む）

- ・「知・徳・体」の育成をバランスよく展開することにより、豊かな心を基盤にしながら、確かな学力や自ら学び考え行動する力、健康な心身などの「生きる力」を育成する。併せて、今後ますます必要とされる社会性の育成についても推進する。
- ・正しい生徒理解や明確な方針に基づいた教育活動を展開することにより、人間尊重の精神を基盤として、生徒の多様な資質や個性を伸ばし、自他を尊重し健全な社会生活を営むことのできる人間の育成を図る。
- ・教職員としての使命を自覚し、自ら研鑽に努め、業務の適正化を図りながら協働した教育実践をしていくことで、保護者や地域との連携を深め、一層信頼される学校づくりを推進する。

3 学校経営の方針（中期的視点） ※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針は文頭に○印を付ける。

- (1) 学業指導の充実による、生徒一人一人の将来の自己実現に向けた基盤づくりの推進
- (2) 「確かな学力」を確実に身に付けるための学習指導の推進
- (3) ○豊かな人間性、主体的に生きる力を育む教育の推進
- (4) ○認め、褒めて伸ばす指導による自己肯定感・自己有用感を高める教育の推進
- (5) ○言語環境の整備と人権尊重の教育の推進
- (6) 特別な支援を必要とする生徒のための指導・支援体制の整備及び個に応じた指導・支援の推進
- (7) 専門性や指導力の向上を目指し、相互に学び合い、業務の効率化を図りながら、教育課題に協働して取り組む教職員集団の構築
- (8) ○小学校、家庭、地域との連携による信頼される学校づくり
- (9) 質の高い教育の提供と生徒と向き合う時間の確保に向けた、全教職員による働き方改革の推進

【横川地域学校園教育ビジョン】

「豊かな心の育成を目指す 横川地域学校園の小中一貫教育」
～自分・人・地域を大切にし、主体的に行動できる子どもの育成を目指して～

4 教育課程編成の方針

次の 5 つの視点を踏まえ、地域とともにある学校づくりを推進していくための教育課程を編成する。

- (1) 「社会に開かれた教育課程」の理念を踏まえたカリキュラム・マネジメントの充実
- (2) 教科・領域における地域の教育資源の活用や連携による「主体的・対話的で深い学び」の充実
- (3) 地域学校園内の小学校との連携・協力による、小中一貫教育の一層の充実
- (4) 保護者や地域住民等への情報発信及び家庭や地域との連携・協働の推進
- (5) 行事や業務の見直しと精選による働き方改革の推進

5 今年度の重点目標（短期的視点） ※「小中一貫教育・地域学校園」に関する重点目標は文頭に○印を付ける。

(1) 学校運営
○生徒一人一人のよさや強みを認め、「褒めて伸ばす」指導の充実
(2) 学習指導
○「分かる授業」の展開及び家庭学習の確立による基礎・基本の定着と、「主体的・対話的で深い学びの充実」による思考力、判断力、表現力、学びに向かう力の育成
(3) 児童生徒指導
○「心のたくましさ」を育てる積極的な生徒指導
○児童生徒の健全育成を目指して—いじめゼロ・あいさつ・時間・言葉づかい—(共通スローガン)～「挑戦する」「我慢する」「あきらめない」「自信を持つ」生徒を育てるための指導の充実～
(4) 健康（保健安全・食育）・体力
○自他の命を大切にし、安全・健康・体力の向上に取り組む生徒の育成

6 自己評価 A1～A20は市共通評価指標 B1～は学校評価指標（小・中学校共通，地域学校園共通を含む）

※「主な具体的な取組の方向性」には，A拡充 B継続 C縮小・廃止，を自己評価時に記入

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は，文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

第2次宇都宮市学校教育推進計画後期計画基本施策	評価項目	主な具体的な取組	方向性	評価
1ー(1) 確かな学力を育む教育の推進	A 1 生徒は，他者と協力したり，必要な情報を集めたりして考えるなど，主体的に学習に取り組んでいる。 【数値指標】 生徒の肯定的回答 85%以上 教職員の肯定的回答 85%以上	①基礎・基本の定着のため、授業でＴＴや習熟度別学習を行うなど、生徒一人一人に個別に対応できる学習指導の体制を整える。 ②放課後学習相談も継続して実施する。 ③「見せ合い授業」等を通して、生徒の興味関心を高める教材を工夫する。 ④言語活動の充実を図る活動を取り入れる。 ⑤思考力・判断力・表現力を高める学習活動の改善を図る。 ⑥問題解決で他者と協力できる人間関係が育成できるような学級経営を行う。	B	【達成状況】 生徒の肯定的回答 89.2% 教職員の肯定的回答 92.3% ・評価対象である生徒・教職員の肯定的回答は数値指標を達成した。 【次年度の方針】 ①基礎・基本の定着のため、授業でＴＴや習熟度別学習を行うなど、生徒一人一人に個別に対応できる学習指導の体制を整える。 ②放課後学習相談を継続して実施する。 ③「見せ合い授業」等を通して、生徒の興味関心を高める教材を工夫する。 ④言語活動の充実を図る活動を取り入れる。 ⑤思考力・判断力・表現力を高める学習活動の改善を図る。 ⑥問題解決で他者と協力できる人間関係が育成できるような学級経営を行う。

1ー(2) 豊かな心を 育む教育の 推進	A 2 生徒は、思いやりの心をもっている。 【数値指標】 生徒の肯定的回答 95%以上 教職員の肯定的回答 95%以上 保護者の肯定的回答 95%以上	①道徳の授業や学級活動において、様々な場面で思いやりを意識した授業展開を計画実施する。 ②思いやりの心を自然環境やものに対しても持てるよう SDGs と関連させた内容や委員会活動においても計画をする。	B	【達成状況】 生徒の肯定的回答 91.2% 教職員の肯定的回答 94.9% 保護者の肯定的回答 93.7% ・評価対象である生徒・教職員・保護者の肯定的回答は数値指標を達成できなかった。 【次年度の方針】 ①道徳の授業や学級活動において、様々な場面で思いやりを意識した授業展開を計画実施する。 ②思いやりの心を自然環境やものに対しても持てるよう SDGs と関連させた内容や委員会活動においても計画をする。
	A 3 生徒は、目標に向かってあきらめずに、粘り強く取り組んでいる。 【数値指標】 生徒の肯定的回答 80%以上 教職員の肯定的回答 85%以上	①将来の目標を段階的に計画し、その目標を達成するための手段を考えながら粘り強く努力するよう、きめ細やかな指導を行っていく。 ②各学級や専門委員会や部活動で目標を立て、振り返りを行うなど、PDCA サイクルを取り入れた活動を行っていく。	B	【達成状況】 生徒の肯定的回答 81.7% 教職員の肯定的回答 89.7% ・評価対象である生徒・教職員の肯定的回答は数値指標を達成した 【次年度の方針】 ① 将来の目標を実現するために、学級活動の中で身近な職業調べや上級学校調べを行い、計画的に進路の学習を進め、希望をもった生活を送ることができるようなきめ細やかな指導を行っていく。 ② 学校生活の様々な場面で、段階的に目標を立て、振り返りを行っていくことで、夢に少しずつ近づけるような指導をしていく。
1ー(3) 健康で安全な生活を実現する力を育む教育の推進	A 4 生徒は、健康や安全に気を付けて生活している。 【数値指標】 生徒の肯定的回答 90%以上 教職員の肯定的回答 80%以上	①生徒会保健体育委員会の活動を充実させ、生涯にわたった健康的な生活が身につくようきめこまかな指導をしていく。 ②「うつのみや元気っ子プロジェクト」を活用し、バランスの良い食生活をしたり、体力の増進に努めるなどを自主的にできるようにする。	B	【達成状況】 生徒の肯定的回答 89.6% 教職員の肯定的回答 94.9% ・評価対象である生徒の肯定的回答は数値指標を達成できなかったが、教職員の肯定的回答は数値指標を達成できた。 【次年度の方針】 ①生徒会保健体育委員会の活動を充実させ、生涯にわたった健康的な生活が身につくようきめこまかな指導をしていく。 ②「うつのみや元気っ子プロジェクト」を活用しながら具体的な目標を設定しバランスの良い食生活を送ること、体力の増進に努めるなどを自主的にできるようにする。

1-(4) 将来への希望と協働する力を育む教育の推進	A5 生徒は、自分のよさや成長を実感し、協力して生活をよりよくしようとしている。 【数値指標】 生徒の肯定的回答 85%以上	①将来の目標を段階的に計画し、その目標を達成するための手段を考えながら粘り強く努力するよう、きめ細やかな指導を行っていく。	B 【達成状況】 生徒の肯定的回答 86.9% ・評価対象である生徒の肯定的回答は数値指標を達成した 【次年度の方針】 ① 自分自身をしっかりと見つめ、自身のよさを認めることができるような肯定的な声かけをしていく。 ② 普段の学校生活の中で、他人を思いやり協力することの大切さを学ぶ機会を作り、お互いを認め合うことができるような雰囲気作りを大切にしていく。
2-(1) グローバル社会に主体的に向き合い、郷土愛を醸成する教育の推進	A6 生徒は、英語を使ってコミュニケーションしている。 【数値指標】 生徒の肯定的回答 80%以上	①コミュニケーション活動の機会を増やせるよう、導入やALTの活用時に対話活動を増やし、場面設定の工夫などを行う。 ②英語科の授業において、英語で話し合うことの楽しさを感じられるような言語活動の時間を多く取り入れる。	B 【達成状況】 生徒の肯定的回答 74.4% ・評価対象である生徒の肯定的回答は数値指標を達成できなかった。 【次年度の方針】 ①英語でのコミュニケーション活動を行う機会を増やせるよう、英語科の授業で、場面設定の工夫などをした対話活動を行う。 ②英語科の授業において、英語で話し合うことの楽しさを感じられるような言語活動の時間を多く取り入れる。
	A7 児童生徒は、宇都宮の良さを知っている。 【数値指標】 生徒の肯定的回答 75%以上	①総合的な学習の時間の宇都宮学の授業や地域のボランティア活動を通して、宇都宮の良さを感知される体験ができるような指導を工夫していく。 ②できるだけ身近な題材を扱う工夫をすることで、何気なく知っていたことや生活していたことが実はすごいことだと気づけるような体験を加える。 ③給食で「地産地消」の食材を用いるなど、宇都宮の農産物についての興味関心を高める。	B 【達成状況】 生徒の肯定的回答 79.5% ・評価対象である生徒の肯定的回答は数値指標を達成した 【次年度の方針】 ①総合的な学習の時間の宇都宮学の授業や地域のボランティア活動を通して、宇都宮の良さを感知される体験ができるような指導を工夫していく。 ②教科等で地域を題材（（例）社会科の単元「地域の在り方」）と取り上げ、宇都宮についての知識を深める。 ③給食で「地産地消」の食材を用いるなど、宇都宮の農産物についての興味関心を高める。

2- (2) 情報社会と 科学技術の 進展に対応 した教育の 推進	A 8 生徒は、デジタル機器 や図書等を学習に活用し ている。 【数値指標】 生徒の肯定的回答 80%以上 教職員の肯定的回答 80%以上	①タブレットの故障が多く、生徒や教 員に十分にいきわたっていないの で、生徒にタブレットの正しい扱い 方を指導していく。 ②タブレットが生徒一人一人に導入 されていることを受け、各教科主任 を中心として、それらを有効活用し た授業実践を行えるようにする。 ③各教科で必要な図書の充実を図り、 授業に有効活用する。	B 【達成状況】 生徒の肯定的回答 68.4% 教職員の肯定的回答 100% ・評価対象である生徒の肯定的回答は 数値指標を達成できなかったが、教職 員の肯定的回答は数値指標を達成し た。 【次年度の方針】 ①生徒にタブレットの正しい扱い方を 指導していく。 ②各教科主任を中心として、タブレッ トや図書を有効活用した授業実践を行 えるようにする。 ③活用の状況等を記録、発信し、生徒 自身が「活用している」と自信を持て る気持ちを養う。
2- (3) 持続可能な 社会の実現 に向けた担 い手を育む 教育の推進	A 9 生徒は、「持続可能な社 会」について、関心をも っている。 【数値指標】 生徒の肯定的回答 75%以上 教職員の肯定的回答 70%以上	①各教科、領域で「持続可能な社会」 について教えたり、各種委員会で、 SDGsに関連した目標をたて、生徒 の意識を高めたりできるようにす る。	B 【達成状況】 生徒の肯定的回答 74.3% 教職員の肯定的回答 56.4% ・評価対象である生徒・教職員の肯定 的 回答は数値指標を達成できなかった。 【次年度の方針】 ①各教科、領域で「持続可能な社会」に ついて教える。 ②各種委員会で、SDGsに関連した目標 をたて、生徒の意識を高める。 ③生徒だけでなく、教員側の知識と関心 を高める。
3- (1) インクルー シブ教育シ ステムの充 実に向けた 特別支援教 育の推進	A10 教職員は、特別な支援 を必要とする生徒の実態 に応じて、適切な支援を している。 【数値指標】 教職員の肯定的回答 95%以上	①教職員の特別支援教育研修の充実 を図り、多様なニーズに対応でき るようにする。 ②生徒指導部会や教育相談部会で、生 徒の状況についての情報共有やケ ース会議を行うことで、迅速に適切 な支援活動ができるようにする。 ③病院や相談機関など、校外の機関と の情報交換を積極的に行うことで、 幅広いニーズに対応した支援を行 う。	B 【達成状況】 教職員の肯定的回答 97.4% ・評価対象である教職員の肯定的回答 は数値指標を達成した。 【次年度の方針】 ①個々の情報や支援の方針を共通理解 し、全職員で対応できるようにする。 ②気になる生徒について、適宜ケース 会議等を実施し、適切な対応が図れ るよう検討を行う。

3- (2) いじめ・不登校対策の充実	A11 教職員は、いじめが許されない行為であることを指導している。 【数値指標】 生徒の肯定的回答 95%以上 教職員の肯定的回答 95%以上 保護者の肯定的回答 95%以上	①日常的に生徒の言動に注意し、生徒の出すサインや違和感を見逃さないように意識する。 ②生徒が相談しやすい環境や教師に対する信頼関係の構築に努める。 ③教職員がいじめ防止に対する意識を高めるとともに、早期対応の方法などを学ぶ研修を行う。	B 【達成状況】 生徒の肯定的回答 95.6% 教職員の肯定的回答 100% 保護者の肯定的回答 78.7% ・評価対象である生徒・教職員の肯定的回答は数値指標を達成したが保護者の肯定的回答の数値指標は達成できなかった。 【次年度の方針】 ①日常的に生徒の言動に注意し、生徒の出すサインや違和感を見逃さないように意識する。 ②いじめ調査などの調査用紙を活用し、生徒が困り感を表出しやすい環境を整えると共に、訴えについては迅速に対応する早期発見・早期解決の組織的対応を実践する。
	A12 教職員は、不登校を生まない学級経営を行っている。 【数値指標】 生徒の肯定的回答 95%以上 教職員の肯定的回答 95%以上 保護者の肯定的回答 90%以上	①スタンダードダイアリーだけでなく、教育相談や生活のアンケートの情報を大切に、生徒理解に努める。 ②別室登校の生徒と担任のやり取りを充実させ、共に教室復帰を目指す。	B 【達成状況】 生徒の肯定的回答 93.7% 教職員の肯定的回答 100% 保護者の肯定的回答 91.3% ・評価対象である生徒の肯定的回答は数値指標を達成できなかったが、教職員・保護者の肯定的回答は数値指標を達成できた。 【次年度の方針】 ①学校生活アンケートなどの調査用紙を活用すると共に、教育相談を充実させ学級担任と生徒が信頼関係を構築できるように努める。 ②別室登校の環境を整え、様々なニーズに合った対応が可能になる体制を構築する。
3- (3) 外国人児童生徒等への適応支援の充実 3- (4) 多様な教育的ニーズへの対応の強化	A13 学校は、一人一人が大切にされ、活気があり、明るくいいきとした雰囲気である。 【数値指標】 生徒の肯定的回答 90%以上 教職員の肯定的回答 90%以上 保護者の肯定的回答 80%以上 地域の肯定的回答 80%以上	①担当委員会が提案するだけでなく、横のつながりを大切に、委員会の枠を超えて横断的に活動をしていくようにする。 ②生徒会だよりなどを発行し、校内だけでなく校外へ積極的に情報を発信できるように工夫をする。	B 【達成状況】 生徒の肯定的回答 92.9% 教職員の肯定的回答 100% 保護者の肯定的回答 90.1% 地域の肯定的回答 100% ・評価対象である生徒・教職員・保護者地域の肯定的回答は数値指標を達成できた。 【次年度の方針】 ①担当委員会が提案するだけでなく、横のつながりを大切に、委員会の枠を超えて横断的に活動をしていくようにする。 ②地域や小中の連携を図りながら、ボランティア活動や募金などを委員の生徒のみならず、全校生徒に周知して積極的な活動を目指す。

4- (1) 教職員の資 質・能力の 向上	A14 教職員は、分かる授業や生徒にきめ細かな指導を行い、学力向上を図っている。 【数値指標】 生徒の肯定的回答 90%以上 教職員の肯定的回答 95%以上 保護者の肯定的回答 90%以上	①教科部会で上がった教科ごとの課題を明確にして、教員同士が「見せ合い授業」等を通して、授業研究に努める。 ②I C T 機器を利用した授業実践を積み重ねていくことで、教員のI C T 機器に関する授業力向上を図る。	B 【達成状況】 生徒の肯定的回答 91.5% 教職員の肯定的回答 100% 保護者の肯定的回答 83.4% ・評価対象である生徒・教職員の肯定的回答は数値指標を達成できたが、保護者の肯定的回答は数値指標を達成できなかった。 【次年度の方針】 ①定期テストや学力調査などの解答傾向の分析をもとに、教科ごとの課題を明確にする。 ②教科ごとの課題を改善するために、「見せ合い授業」などを通して、授業改善に努めていく。
4- (2) チーム力の 向上	A15 学校に関わる職員全員がチームとなり、協力して業務に取り組んでいる。 【数値指標】 教職員の肯定的回答 80%以上	①学校経営方針や重点目標を全職員が意識し、個々の力を適切に発揮しながら業務に取り組めるよう、生徒や学校業務に関する内容の共通理解を図っていく。	B 【達成状況】 教職員の肯定的回答 94.9% ・評価対象である教職員の肯定的回答は数値指標を達成できた。 【次年度の方針】 ①学校経営方針や重点目標を、全教職員が意識し個々の力を適切に発揮しながら業務に取り組む。 ②施設安全については、学校業務・機動班と連携し迅速に対処する。 ③教育相談や生徒指導については、SCやMSや関係機関と連携し早期解決・早期対応に勤める。 ④各主任主事を中心に情報の提供やミニ会議等を実施し、共通理解を図り実行していく。
4- (3) 学校における働き方改革の推進	A16 勤務時間を意識して、業務の効率化に取り組んでいる。 【数値指標】 教職員の肯定的回答 80%以上	①業務内容を精選し、勤務時間を意識しながら業務にあたる。 ②教科間、学年間で教材や資料の共有をより多くの職員で行い、各業務の効率化を図る。 ③行事の有用性や内容の精選を考え、放課後の時間を生み出す工夫を積極的に行っていく。	B 【達成状況】 教職員の肯定的回答 84.6% ・評価対象である教職員の肯定的回答は数値指標を達成できた。 【次年度の方針】 ①業務内容を精選し、勤務時間を意識しながら業務に取り組める雰囲気づくりを行う。 ②教材、行事や業務について、資料の共有を職員間で行い、各業務の効率化を図る。 ③行事の有用性や内容を踏まえながら精選を図るとともに、生徒が十分な活動を行えるよう時間を生み出す工夫を積極的に行っていく。

5- (1) 全市的な学校運営・教育活動の充実	A17 学校は、「小中一貫教育・地域学校園」の取組を行っている。 【数値指標】 生徒の肯定的回答 75%以上 教職員の肯定的回答 80%以上 保護者の肯定的回答 80%以上 地域の肯定的回答 80%以上	①「小中交流あいさつ運動」、「乗り入れ授業」などを通して、教師や児童・生徒同士の連携を図っていく。 ②要請訪問や校内授業研究会への参加を通して、小中間の授業に関する情報交換及び授業力向上を目指す。	B 【達成状況】 生徒の肯定的回答 75.3% 教職員の肯定的回答 87.2% 保護者の肯定的回答 83.0% 地域の肯定的回答 100% ・評価対象である生徒・教職員・保護者地域の肯定的回答は数値指標を達成できた。 【次年度の方針】 ①「小中交流あいさつ運動」、「乗り入れ授業」などを通して、教師や児童・生徒同士の連携を図り、その様子を発信する。 ②要請訪問や校内授業研究会への参加を通して、小中間の授業に関する情報交換及び授業力向上を目指す。
5- (2) 主体性と独自性を生かした学校経営の推進 5- (3) 地域と連携・協働した学校づくりの推進	A18 学校は、家庭・地域・企業等と連携・協力して、教育活動や学校運営の充実を図っている。 【数値指標】 生徒の肯定的回答 70%以上 教職員の肯定的回答 80%以上 保護者の肯定的回答 80%以上 地域の肯定的回答 80%以上	①魅力ある学校づくり地域協議会とPTAと生徒会が連携することで、活動の充実を図れるようにする。 ②地域のボランティア活動との協力を継続し、郷土への愛着が強まるようにする。	B 【達成状況】 生徒の肯定的回答 75.8% 教職員の肯定的回答 97.4% 保護者の肯定的回答 90.3% 地域の肯定的回答 93.8% ・評価対象である生徒の肯定的回答は達成できなかったが、教職員・保護者・地域の肯定的回答は数値指標を達成できた。 【次年度の方針】 ①魅力ある学校づくり地域協議会とPTAと生徒会が連携することで、活動の充実を図れるようにする。 ②地域のボランティア活動との協力を継続し、郷土への愛着が強まるようにする。
6- (1) 安全で快適な学校施設整備の推進	A19 学校は、利用する人の安全に配慮した環境づくりに努めている。 【数値指標】 教職員の肯定的回答 90%以上 保護者の肯定的回答 90%以上 地域の肯定的回答 90%以上	①学校安全点検をしっかりと行い、修繕すべきところは素早く対応していく。 ②防災訓練等を定期的に行い、安全に関する知識を身に付けさせる。 ③各担当とよくコミュニケーションを取りながら行っていく。	B 【達成状況】 教職員の肯定的回答 94.9% 保護者の肯定的回答 90.9% 地域の肯定的回答 100% ・評価対象である教職員・保護者・地域の肯定的回答は数値指標を達成できた。 【次年度の方針】 ①学校安全点検をしっかりと行い、修繕すべきところは素早く対応していく。 ②防災訓練等を定期的に行い、安全に関する知識を身に付けさせる。 ③活動状況を記録、発信することで、広く周知し防災・減災の意識向上を図る。

6-(2) 学校のデジ タル化推進	A20 コンピュータなどのデ ジタル機器やネットワー クの点から、授業（授業 準備も含む）を行うため の準備ができています。 【数値指標】 教職員の肯定的回答 80%以上	①ICT 機器を利用して個別最適化され た授業を展開する。 ②協働的な学びを支援する。 ③職員研修を行うことで、機器の取り 扱いや生徒への指導ができるよう 教職員の資質向上を図る。	B 【達成状況】 教職員の肯定的回答 94.9% ・評価対象である教職員の肯定的回答 は数値指標を達成できた。 【次年度の方針】 ①ICT 機器を利用して個別最適化され た授業を展開する。 ②協働的な学びを支援する。 ③職員研修を行うことで、機器の取り扱 いや生徒への指導ができるよう教職 員の資質向上を図る。
小・中学 校、地域 学校共 通、本校 の特色・ 課題等	B1 生徒は、時と場に応じ たあいさつをしている。 【数値指標】 生徒の肯定的回答 90%以上 教職員の肯定的回答 90%以上 保護者の肯定的回答 90%以上 地域の肯定的回答 90%以上	①時と場に応じ、誠意のある品の良い あいさつや会話ができるよう指導 していく。	B 【達成状況】 生徒の肯定的回答 96.3% 教職員の肯定的回答 92.3% 保護者の肯定的回答 91.5% 地域の肯定的回答 100% ・評価対象である生徒・教職員・保護者 地域の肯定的回答は数値指標を達成 できた。 【次年度の方針】 ①時と場に応じ、誠意のある品の良いあ いさつや会話ができるよう指導する。 ②生徒会とも連携し、あいさつ運動やあ いさつコンクールなどを実施し、あい さつの大切さを実感させ、意識向上に 努める。
	B2 生徒は、きまりやマ ナーを守って、生活 をしている。 【数値指標】 生徒の肯定的回答 85%以上 教職員の肯定的回答 80%以上	①「ルール」の意味を理解させ、チャ イム前着席など、時間に余裕をもっ て行動することを指導していく。 ②生徒会専門委員会を活性化させ、生 徒が主体的に「学校の決まり」を守 って生活するような意識づくりを 行う。	B 【達成状況】 生徒の肯定的回答 94.9% 教職員の肯定的回答 97.4% ・評価対象である生徒・教職員の肯定的 回答は数値指標を達成できた。 【次年度の方針】 ①チャイム前着席など、時間に余裕をも って行動することを指導する。 ②「学校の決まり」について見直しが必要 な部分については、生徒会とも連携 を図り積極的に実践する。

B 3 生徒は、主体的かつ継続的に家庭学習に取り組んでいる。 【数値指標】 生徒の肯定的回答 85%以上 保護者の肯定的回答 85%以上	①自主学習の手引きを利用して、学習内容について、「めあて」「振り返り」を記入することで、次時の学習へ見通しを持たせる。 ②参考になる自主学習ノートの紹介を行うことで、生徒の学習意欲の喚起に努める。	【達成状況】 生徒の肯定的回答 78.8% 保護者の肯定的回答 70.2% ・評価対象である生徒・保護者の肯定的回答は数値指標を達成できなかった。 【次年度の方針】 ①「自主学習の手引き」を活用することで、生徒各自が学習の見通しをもって学習できる環境を整える。 ②定期テストや長期休業前などに、参考になる自主学習ノートの活用例を生徒、保護者に紹介することで、学習意欲の喚起に努める。 ③定期テストで、全学年共通の計画表、振り返り表を活用することで、テスト前の家庭学習の確立に努める。
B 4 教職員は生徒のよさを認め、励ます声掛けを行っている。 【数値目標】 生徒の肯定的回答 85%以上 教職員の肯定的回答 85%以上	①生徒の自己肯定感が高まる声かけや励まし、称賛をさらに意識して生徒と接していく。 ②達成感のある行事や授業を実施する。 ③学校生活アンケートでの善行記入を有効に活用する。	【達成状況】 生徒の肯定的回答 91.2% 教職員の肯定的回答 100% ・評価対象である生徒・教職員・保護者地域の肯定的回答は数値指標を達成できた。 【次年度の方針】 ①学校行事などを通して、生徒が主体となって取り組む内容を検討し、必要に応じて教員が助言を行うことにより、生徒の主体性の育成と自己肯定感の高まりを図る。 ②学校生活アンケートでの善行についての記入を活用し、生徒への積極的な声かけを実践する。
B 5 生徒は、読書の時間に進んで読書を行い、図書室を利用して読書に親しんでいる。 【数値指標】 生徒の肯定的回答 85%以上 教職員の肯定的回答 85%以上	①朝の読書を毎日実施し、読書の習慣づけを図る。 ②読書週間を設け、全校朗読放送や図書のクラス貸出、お話給食の実施などを行い、読書の啓発を推進する。 ③図書だよりを通じて、家庭での読書のすすめを呼びかける。 ④1年時に図書室の利用のガイダンスを行う時間を利用し、じっくり図書を選ぶ時間をとったり、貸し出しの機会を増やしたりするなど、一人一人が図書に係わるような指導を増やす。	【達成状況】 生徒の肯定的回答 67.7% 教職員の肯定的回答 89.7% ・評価対象である生徒の肯定的回答は数値指標を達成できなかったが、教職員の肯定的回答は達成できた。 【次年度の方針】 ①朝の読書を毎日実施し、読書の習慣づけを図る。 ②読書週間を設け、図書委員会の生徒主体となって、朗読放送やお話給食を実施し、読書の啓発を推進する。 ③図書だよりを通じて、家庭での読書のすすめを呼びかける。また、家読デイを設け、家庭での読書を呼びかける。 ④図書室内の環境整備と、図書の整理整頓を行う。

	B 6 教職員は、生徒の長所や得意なことなどを認め、ほめている。 【数値指標】 生徒の肯定的回答 90%以上 教職員の肯定的回答 90%以上 保護者の肯定的回答 90%以上	①授業や行事だけでなく、係活動や当番活動等で気が付いたことは積極的にその活動を評価する。行事においては、中心生徒だけでなく、集団の努力も認める。 ②個人目標の設定をさせ、進捗状況や努力している過程にも目を向け、認め、ほめることによって、自己肯定感の更なる向上を目指していく。	B 【達成状況】 生徒の肯定的回答 91.9% 教職員の肯定的回答 100% 保護者の肯定的回答 90.7% ・評価対象である生徒・教職員・保護者地域の肯定的回答は数値指標を達成できた。 【次年度の方針】 ①授業や行事だけでなく、係活動や当番活動等で気が付いたことは積極的にその活動を評価する。行事においては、中心生徒だけでなく、集団の努力も認める。 ②個人目標の設定をさせ、進捗状況や努力している過程にも目を向け、認め、ほめることによって、自己肯定感の更なる向上を目指していく。
	B 7 教職員は、定期的に交通指導や登校指導を行い、交通事故防止に努めている。 【数値指標】 生徒の肯定的回答 85%以上 教職員の肯定的回答 85%以上 保護者の肯定的回答 85%以上 地域の肯定的回答 85%以上	①交通ルールやマナーの遵守および安全な登下校のため、全教職員が、登校指導や下校指導、日々の交通指導に力を入れていく。 ②学級での指導を基本とし、家庭や地域の協力も得て、安全な自転車の乗り方やマナー意識の高揚に努める。	B 【達成状況】 生徒の肯定的回答 97.5% 教職員の肯定的回答 100% 保護者の肯定的回答 88.0% 地域の肯定的回答 92.3% ・評価対象である生徒・教職員・保護者地域の肯定的回答は数値指標を達成できた。 【次年度の方針】 ①保護者との連携のもと、登校指導、下校指導を引き続き行っていく。通学路の危険箇所や交通ルール遵守の徹底を生徒へ呼び掛ける。 ②さくら連絡網や PTA など周知、協力依頼をお願いする。

〔総合的な評価〕

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

- ・27の質問項目で23項目が指標を上回った。
 - ・質問項目を生活面、学習面、健康安全面と大きく分類し数値を検討してみると、生活面に関することは、ほとんどの項目で生徒、教職員の肯定的回答が指標を上回っている。このことから、生徒指導主事を中心に職員のきめ細かな指導がされており、生徒は学校の決まりやマナーを守り落ち着いた生活を行うことで充実した学校生活を送っていると考えられる。
 - ・学習面に関することでは、ほとんどの項目で生徒、教職員の肯定的回答が指標を上回っているが保護者の肯定的回答が下回っている項目がある。B3の「主体的にかつ継続的に家庭学習に取り組んでいる」では生徒と保護者の肯定的回答が数値指標を下回っている。家庭学習の方法や授業からの課題の提示など生徒に指示をするとともに、家庭学習の環境づくりに保護者へ協力を依頼するなど検討していきたい。学力向上に向けて、わかる授業を行うためにICTを効果的に活用していく。
 - ・健康安全面に関することでは、教職員の肯定的回答は指標を上回っているが、生徒、保護者は指標を下回っている。交通法規の遵守を改めて生徒に理解できるよう指導し、交通マナーの遵守や心のマナーの向上に努めていく。
- 小中一貫教育・地域学校園に関する項目については、小学校への乗り入れ授業や各部会を開いたり、生徒会主催による小学校でのあいさつ運動行ったりするなど、小中の教職員が連携した活動や生徒の活動を行ったことで数値指標は上回っている。今後は学校園での共通の課題である学力の向上に向けて、生徒の実態に合わせて効果的な取り組みを行い地域や保護者に活動内容が理解されるようHPやたよりなどを活用し理解されるよう検討していく。

7 学校関係者評価

- ・部活動の華々しいご活躍の報告がありました。学力の方は県内ではどのようなレベルに位置付けられているでしょうか？授業の理解度はいかにほどでしょうか？
- ・地域行事等でのボランティアに積極的に取り組む本校生徒は素晴らしいなと感心しています。今後とも、できる範囲で地道に取り組んでいってくれることを願っています。
- ・地域の人にも元気に挨拶してくれて、ボランティアにも来てくれ、地域に元気を与えてくれている子どもたちだと思います。この方向で、子どもたちを育てていただければと思います
- ・差別がない教育に努めていると感じます。生徒の立場に立って考えていると感じます。
- ・文化祭を、オンラインで横中生がいる近所の方と拝見させて頂きました。どの生徒も、先生も一緒に盛り上がってとても楽しい雰囲気伝わりました。活気のある学校運営なんだと感じました。
- ・「宇都宮の良さを知っている」の数値指標が上がってきている。地元愛を高めることは地域活性につながるので、今後も宇都宮学の指導をよろしく願いたい。

8 まとめと次年度へ向けて（学校関係者評価を受けて）

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

- ・本校の重点目標である、学力向上では成果が現れているが、さらなる向上を目指すには家庭学習の定着が不可欠である。そのため家庭学習の方法や授業からの課題の提示など生徒に指示をするとともに、家庭学習の環境づくりに保護者へ協力を依頼するなど検討していきたい。生徒の授業に向けての学習意欲は高まり、授業2分前着席など生徒の学習に向かう意識や環境が整っている。授業中にタブレットを効果的に使い、視覚的に理解できる教材作成や、小グループでの話し合い活動を行うことで深い学びにつながってきている。
 - ・新学習指導要領の「主体的で対話的な深い学び」の授業が展開できるよう、生徒が授業のねらいを理解し、インプットからアウトプットをすることで学習内容の定着と多面的な考察ができるような学習環境を確立していく。
 - ・自己肯定感や自己有用感を高めるために、生徒と教職員のよりよい人間関係を醸成するとともに、教育相談活動を充実させ、安全で安心な学校づくりを目指す。今年度はカウンセリング研修を年度当初に実施し、職員の資質向上を図った。また、不登校の解決や改善に向けて、学級活動等で生徒自身の問題解決能力の向上を図れるような授業を取り入れていく。
 - ・交通事故ゼロに向けて、交通安全教室や危険箇所マップ作成などを行い、自転車運転者としての交通法規の遵守と心のマナーの向上を図る。
- 「小中一貫教育・地域学校園」に関する項目では、小学校への乗り入れ授業や宮っ子チャレンジでの小学校での職場体験学習活動中での小学6年生への中学校紹介、生徒会主催の小中合同あいさつ運動の実施することで、小中一貫教育の活動が認識されてきている。今後は生徒の学習面や生活面に反映できる一貫教育の取組を小中で連携し、9年間を見据えた指導内容や児童生徒の活動を行うとともに、積極的に情報の発信をしていきたい。